

令和5年度千葉県国際教育交流推進事業 台湾派遣 成果報告会

県教育委員会は、令和6年2月1日（木）に、台湾派遣（令和5年12月18日～21日の4日間）の成果報告会を市内ホテルにて実施しました。教員代表2名と派遣生徒9名が各自の研修テーマ等について発表し、その様子を関係高等学校にオンラインでも配信しました。

（派遣校）柏の葉高校、袖ヶ浦高校、船橋高校、佐倉高校、佐原高校、匝瑳高校、成東高校、木更津高校

成果報告会 次第

1 主催者挨拶

企画管理部教育政策課長 鈴木 真一

2 成果報告（教員）

①柏の葉高等学校 眞山 和姫 教諭

②船橋高等学校 後藤 樹史 教諭

3 成果報告（生徒）

①柏の葉高等学校 山崎 幸之助

②袖ヶ浦高等学校 石井 智喜

③袖ヶ浦高等学校 石田 俐湖

④船橋高等学校 渡邊 ちか

⑤佐倉高等学校 本間 悠介

⑥佐原高等学校 茂垣 聖

⑦匝瑳高等学校 長嶋 琉季

⑧成東高等学校 大岡 祝

⑨木更津高等学校 村山 そら

4 講評

企画管理部教育政策課副参事兼高校改革推進室長 増田 武一郎

県教育委員会より

主催者挨拶
（鈴木課長）



講評
（増田副参事）



「国際的な関心を高め、世界を舞台に活躍できる人材が増えていくことを期待します。」

「成果報告の内容をそれぞれの学校で、今後の教育活動に活かしていただきますようお願いいたします。」

成果報告（教員）



左：眞山教諭「台湾の教育DXからみる千葉県専門高校の展望と課題の考察」について



右：後藤教諭「理数教育における国際交流の重要性」について

生徒による報告の様子



教員報告（抜粋）

- 教員の情報リテラシー、生徒の英語力の高さに日本との差を感じた。
- 理数を専攻する生徒こそ、より国際交流が必要であると感じた。
- 今後海外から生徒の受け入れを充実することでも国際教育の活性化が図れる。

生徒報告（抜粋）

- 海外から日本を考える機会となった。
- 多様性についても考えさせられ、日本でも日本に合った形で多様性を表現できる。
- 自分が台湾で体感したこと、学んだことを伝えていきたい。

この件についてのお問い合わせ先 企画管理部教育政策課 電話：043-223-4177